

ふね遺産 第1回 応募案件－18

「ふね遺産」(応募様式) : A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

2016年12月8日提出 氏名(個人名または団体の代表者名) : 碓崎 貞雄
 所属(個人は住所) : ふね遺産西部支部調査検討委員会
 メールアドレス : skakizaki1126@krc.biglobe.ne.jp
 その他の連絡先 : 山口県下関市一の宮町5-8-22

	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属または所有者	<ul style="list-style-type: none"> ・対象物 : クレーン船大金剛丸 ・所属 : 三井鉱山株式会社三池事業所 	
2. 対象物の作成・存在時期	<ul style="list-style-type: none"> ・本船は明治30年代に行われた大阪築港工事に英国から輸入され、1903年(明治36)に三池港に買い取られ築港工事に使用されて、現在も港内作業に従事している。 ・非自航、クレーン吊り上げ能力15トン、船体部L30m, B約10m, 231総トン 	<ul style="list-style-type: none"> ・2016.11.30 所有者に稼働していることを電話確認済
3. 現状(写真添付)	<ul style="list-style-type: none"> ・1962年(昭和37)に鋼製船体に取り換え、1973年(昭和48)に縦型ボイラーを換装したが、蒸気機関、ウインチ、ジブなどは原形をとどめ、現在も稼働中である。 	 <p>ウインチ</p>  <p>フライホイール</p>
4. ふね遺産認定基準の該当項目	<p>【認定対象】 (1),(4)</p> <p>【認定基準】 (1), (2), (3), (4), (6), (7), (8), (12)</p>	
5. 歴史的・工学技術的意義	<ul style="list-style-type: none"> ・建造年は不詳であるが、わが国最古の動力駆動ジブ俯仰旋回式クレーン船で、明治の蒸気機関が現役で動く極めてまれな例である。 ・国産最初の蒸気駆動クレーン船(簡単なジブ固定式)は1912年(大正2)頃にやっと建造されるが、その後急速に発達する際に本船の及ぼした影響は大きい。 	<p>次の機関により産業遺産として認定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経産省近代化遺産群33 ・日本機械学会「機関遺産」 ・福岡県産業遺産 ・大牟田市産業遺産
6. 参考資料・文献(本表に収まらない場合は別途添付する)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 砂田光紀 九州遺産 近現代遺産編101 KYUSHU HERITAGE 1847-1955 弦書房 2005 2. 日本機械学会「機関遺産」第27号 三池港水圧式閘門と蒸気式浮クレーン Web 2016.11.27 	